

# 仕様一覧

## 【ディスク部】

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、 $\lambda=780\text{nm}$ )
D/Aコンバーター	1 Bit
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
ワウ&フラッター	測定限界以下
周波数特性	5 Hz ~ 20 kHz ( $\pm 1$ dB)
高調波歪率	0.005 % (1kHz)
S/N比	100 dB
ダイナミックレンジ	94 dB
ステレオセパレーション	96 dB

## 【電源部 その他】

電源電圧 (⊖アース)	14.4 V (11 ~ 16V)
最大消費電流	0.8 A

## 【寸法・重量】

外形寸法 (W × H × D)	250 × 80 × 176 mm
質量 (重さ)	2.0 kg

これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪) 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22

受付時間9:20~17:40 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

# KENWOOD

CDオートチェンジャー

# KDC-C510

## 取扱説明書



お買い上げいただきましてありがとうございました。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION  
© B64-1794-00 (JW)

# 安全上のご注意

お買い上げいただきましてありがとうございました。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 取り付け上のご注意

## 警告



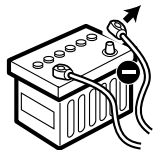
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



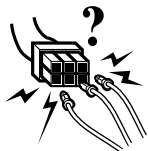
実施

配線作業中は、バッテリーの端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



禁止

製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

## 注意



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

# 使用上のご注意

## 接続できるセンターユニットについて

センターユニットがO-Nスイッチの“N”に対応している場合は、本機のO-Nスイッチを“N”にしてください。くわしくはセンターユニットの取扱説明書を参照ください。

1994年以前に発売されたセンターユニットに本機を接続するときは、別売品の変換ケーブル“CA-SD200”が必要です。くわしくはカタログを参照ください。

なお、TV-FM/AMレシーバー“KRV-X9”に本機を接続することはできません。接続すると破損の原因となります。

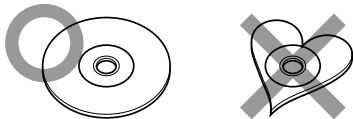
本機にディスクネームプリセットで登録できる文字数/枚数は、12文字/100枚です。(センターユニットにより、登録できる文字数、枚数が異なる場合や登録できない場合があります。)

## 使用できるCD

本機ではディスクマーク  があるCDを使用してください。

## このようなCDは使えません

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。また、特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因となります。



レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。ユニットの故障の原因となるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。(ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください) このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。頻繁に保護回路が働いてCDの演奏ができない場合は、CDオートチェンジャーの取り付け場所を変更してください。

## 取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

本機の取り付けが不安定のまま使用すると音飛びや故障の原因となります。本機は確実に固定して使用してください。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## セットの異常にお気づきのときは

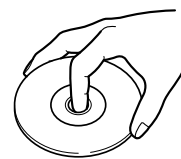
万一、セットの異常にお気づきのときは、まずセンターユニットのリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

# CDの取り扱い

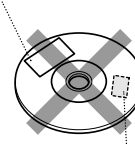
## CDの取り扱い

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因となることがあります。

取り扱いは、記録面に触れないようにします。レーベルが印刷されていない面が、記録面です。CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い



紙テープなど



糊のベタつき

ため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面はもちろん、レーベルが印刷されている面にも、紙テープなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレニタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。

## CDの保存

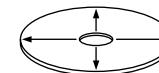
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因となりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

## CDのお手入れ

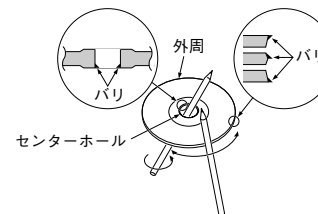
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、

シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



## 新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音とびの原因となります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

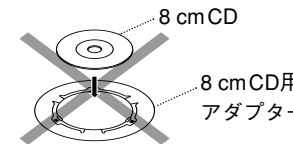


## CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シートなど）は故障の原因となるので利用しないでください。



市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。故障となる場合があります。



## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因となります。

# 故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。  
修理を依頼されるまえに、下記のようなチェックを行ってください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターユニットの電源ハーネス類が接続されていない。</li> <li>車のキースイッチがONになっていない。</li> <li>マイコンが誤動作している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターユニットの電源ハーネス類を接続してください。</li> <li>キースイッチをONにしてください。</li> <li>センターユニットのリセットボタンを押してください。</li> </ul>
CDチェンジャーモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェンジャーコードが接続されていない。</li> <li>センターユニットがO-Nスイッチの“N”に対応していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェンジャーコードを接続してください。</li> <li>本機のO-Nスイッチを“O”に設定してください。</li> </ul>
操作スイッチを押しても動作しない	急激な電源電圧変化の影響により正常に動作できない。	センターユニットのリセットボタンを押してください。
CDの演奏が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時停止状態（ポーズ）になっている。</li> <li>センターユニットの電源がONになっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター／リモコンユニットの▶IIスイッチを押してください。</li> <li>センターユニットの電源をONにします。</li> </ul>
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDが異常に汚れている。</li> <li>CDが裏返しになっている。</li> <li>CDの入れた場所と指定NO.が違う。</li> <li>CDに大きな傷がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDのクリーニングをしてください。</li> <li>マガジンをイジェクトしてCDを正しく入れ直してください。</li> <li>マガジンをイジェクトして指定CDのNO.を確認してください。</li> <li>他のCDを使用してください。</li> </ul>
音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機が不安定な場所に固定してある。</li> <li>本機に荷物があたっている。</li> <li>角度調節スイッチが間違えて設定されている。</li> <li>取り付けかたが悪い。</li> <li>CDに傷や汚れなどが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>凹凸の少ない場所へ取り付けてください。</li> <li>荷物があたらないようにしてください。</li> <li>角度調節スイッチを正しく設定してください。</li> <li>“取り付けかた”を参照して取り付けを確認してください。</li> <li>同じ部分で音が飛ぶ場合は、ディスクの問題です。“CDの取り扱い”の“CDのお手入れ”を参照してください。</li> </ul>
音質が悪い (再生中雑音が出る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CD自身の音質。</li> <li>CDに傷や汚れなどが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のCDを再生して問題がなければ、コンパクトディスク自身の問題です。</li> <li>“CDの取り扱い”の“CDのお手入れ”を参照してください。</li> </ul>

こんなとき	どうして	こうします
CDの表示はプレイになっているが音がでない (片側の音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターユニットの音量が最小になっている。</li> <li>マイコンが正常に動作していない。</li> <li>システムの電源、入出力コード、スピーカーなどの接続が不完全になっている。</li> <li>センターユニットのフェダー、バランスが片チャンネルに片寄った設定になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターユニットの音量を適度に上げてください。</li> <li>センターユニットのリセットボタンを押してください。</li> <li>それぞれの取扱説明書に従って配線をチェックしてください。</li> <li>センターユニットのフェダー、バランスを調節し直してください。</li> </ul>
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイモードを解除してください。

●以下の表示でCDオートチェンジャーの状態をお知らせします。

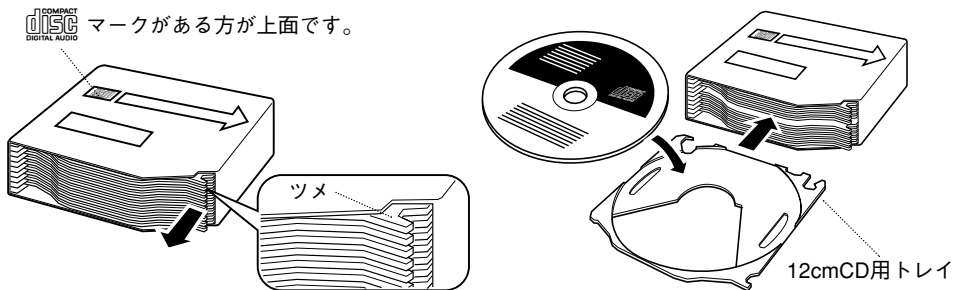
<b>EJECT:</b>	マガジンが入っていない。
<b>E-01:</b>	マガジンが完全に入っていない。 など
<b>NO DISC:</b>	マガジンにCDが1枚も入っていない。
<b>E-02:</b>	マガジンにトレイが1枚も入っていない。 マガジンに入っているすべてのCDが裏返しになっている。
<b>E-04:</b>	CDが異常に汚れている。 CDが裏返しになっている。 CDにキズが多く付いている。
<b>E-05:</b>	メモリープレイセットされていないのにメモリープレイをすると表示されます。
<b>HOLD:</b>	本機内部の温度が高くなると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。
<b>E-0d:</b>	⇨電源をOFFにします。CDオートチェンジャー取り付け場所の温度が下がってから電源ONすると通常の動作に戻ります。
<b>E-77:</b>	何らかの原因で正常に動作していない。 ⇨本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
<b>E-99 :</b>	ディスクマガジンに異常がある 何らかの原因で正常に動作していない。 ⇨ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。 ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。 それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

接続しているセンターユニットにより表示内容が異なる場合があります。くわしくはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

# ディスクをセットする

## ■ マガジンにディスクをセットする

1. マガジンをDISCマークがある面を上にし、トレイのツメを持ってマガジンから完全に引き出します。
2. ディスクのレーベル面を上に向けてトレイに乗せ、マガジンにトレイをロックするまで差し込みます。ディスクやトレイがきちんと入っているか確認してください。

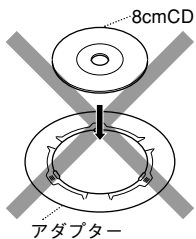


### ディスクNo.について

ディスクNo.は、下からディスクNo.1,2,3・・・10です。

### ！ 誤動作や故障、ディスクに傷を付ける原因となりますので、下記の項目をお守りください。

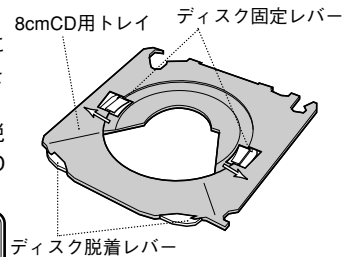
- 実施**
- ディスクの交換は、マガジンからトレイを完全に抜き出して行ってください。
  - マガジンにトレイを入れるときに、マガジンのトレイ用のミゾに段違いに入れないように注意してください。
  - ディスクがない状態でもトレイはすべて入れてください。
  - 付属のマガジンまたは、別売品の"KCA-M112C"では、8cmCD(シングルCD)は使用できません。また、8cmCD(シングルCD)用アダプターも使用できません。8cmCD(シングルCD)を使用する場合は下記をご覧ください。



## ■ 8cmCD(シングルCD)について

8cmCD(シングルCD)を聴くときは、別売の8cmCD(シングルCD)用マガジン"KCA-M108C"を使用してください。

- 8cmCD(シングルCD)用トレイにディスクをセットするには、ディスク脱着レバーを押して、ディスク固定レバーを広げて8cmCDを乗せます。
- 8cmCDをトレイから取り出すときも同様に、ディスク脱着レバーを押して、ディスク固定レバーを広げて8cmCDを取り出します。

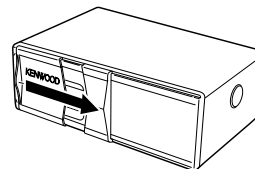


8cmCD(シングルCD)用トレイと12cmCD用トレイは、どのディスクNo.の位置にセットしても使用できます。

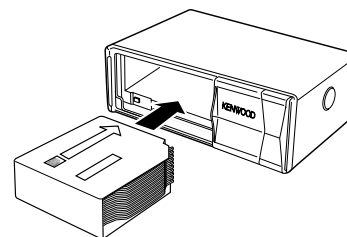
- 注意**
- ディスク固定レバーにディスクを確実に固定してください。ディスクが固定していないと、ディスクが脱落して故障したり、ディスクに傷を付ける原因となります。
  - 8cmCD(シングルCD)用トレイをマガジンに挿入するときは、ディスク脱着レバーを押さないように注意してください。8cmCDが脱落して故障したり、CDに傷を付ける原因となります。

## ■ マガジンを本機にセットする

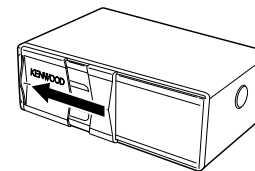
1. 本機のドアを開けます。



2. マガジンを、ロックするまで本機に差し込みます。



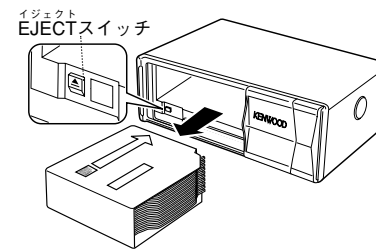
3. 本機のドアを閉めます。



- ！** ホコリが入ると、レーザーピックアップが汚れる原因となります。
- 実施** 必ずドアを閉めて使用してください。

## ■ マガジンを本機から取り出す

1. 本機のドアを開けます。
2. EJECTスイッチを押します。
3. マガジンを取り出します。
4. 本機のドアを閉めます。



- 注意** **マガジンのイジェクト**
- マガジンを取り出すときは、ドアを完全に開いてから行ってください。ドアが完全に開いていないとマガジンがドアに当たり故障の原因となります。
- もし、イジェクト時にマガジンがドアに当たったときは、無理にドアを開けずに、マガジンを一旦ロックするまで差し込み、ドアを完全に開けてから再度EJECTスイッチを押してください。

## ■ マガジンの保存

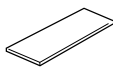
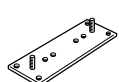
直射日光のあたる場所など、温度が高い場所には置かないでください。変形の原因となり使用できなくなります。特に、夏の直射日光下のシート、ダッシュボードの上などは非常に高温となるため、絶対に放置しないでください。長期間演奏しないときは、本機からマガジンを取り出して、ケースなどに入れて保管してください。

- 注意** マガジンやトレイが汚れたり変形すると、故障やディスクに傷を付ける原因となります。

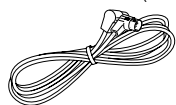
# 取り付けを始める前に

## ■ 付属品

- ①ブラケット×1 ②プレート×2 ③テープ×2 ④タッピンネジ (φ5×20 mm)×4 ⑤セムスネジ (M4×8 mm)×4 ⑥ナット(M5)×4



- ⑦チェンジャーコード(5m)×1 ⑧マガジン×1



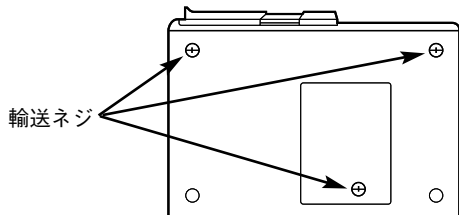
- ⑨防塵シール×1



**!** 取り付けには付属のネジを使用してください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

## ■ 輸送ネジの取り外し

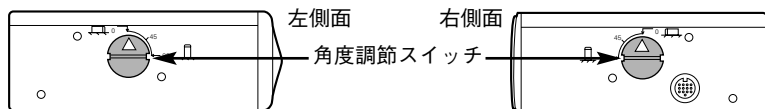
内部メカを守るために取り付けられている3本の輸送ネジを、本体の取り付けを始める前にすべて取り外します。



**!** 取り外した輸送ネジは大切に保管して、本体を輸送するときは必ず実施 輸送ネジを取り付けてください。

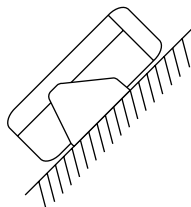
## ■ 角度調節スイッチの切り替えかた

CDオートチェンジャーを取り付ける角度に合わせて、両側面にある角度調節スイッチの矢印を取り付け角度に設定します。角度調節スイッチは、硬貨などで2か所とも同じ設定に切り替えてください。正しくスイッチの設定がされていないと、音飛び、故障の原因となります。



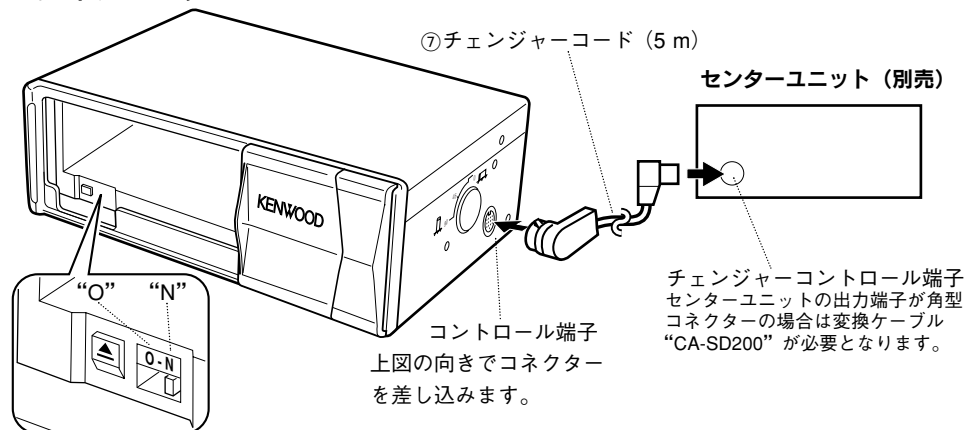
**!** 角度調節スイッチは3段階に切り替わります。0°から90°に切り替えるときは、45°の位置で一度止め、さらに切り替えてください。ロックされた状態で無理に切り替えると、スイッチが壊れるなどの原因となります。  
 実施 ブラケット①だけでは水平面に対して40°~50°には取り付けられません。下右図のようにしっかりと固定された台などを利用して取り付けてください。

取り付け角度	0°~5°	40°~50°	85°~90°
角度調節スイッチの設定			



# 接続のしかた

## CDオートチェンジャー



**注意**

- 取り付け後は必ずセンターユニットのリセットボタンを押してください。
- センターユニットの電源が入ったままチェンジャーコードを接続しないでください。
- 本機の近くに無線機のアンテナを設置したり、チェンジャーコードの近くに無線機のアンテナケーブルを配線しないでください。電波の影響により本機が異常な動作をすることがあります。

## ■ O-Nスイッチの設定について

EJECTスイッチの右にあるO-Nスイッチを、接続するユニットにより以下のように設定します。

センターユニット	CD TEXT対応		CD TEXT非対応		—
	チェンジャースイッチングユニット	なし	KCA-S210A	なし	
O-Nスイッチ設定	N	N	0	0	0

センターユニットがCD TEXT対応モデルかどうかはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。CD TEXT対応モデルの取扱説明書には、“使用上のご注意”のページに“N”に設定するように説明がされています。

# チェンジャーコントロール操作

本機はセンターユニットに接続して使用します。操作・表示はセンターユニットで行いますので、くわしくはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

ディスクネームプリセットで登録できる文字数/枚数は、12文字/100枚です。(センターユニットにより登録できる文字数/枚数が異なる場合や、登録できない場合があります。)

# 取り付けかた



本機は確実に固定してください。固定しない、または不安定な取り付けをすると、衝撃などにより本機が破損、故障することがあります。

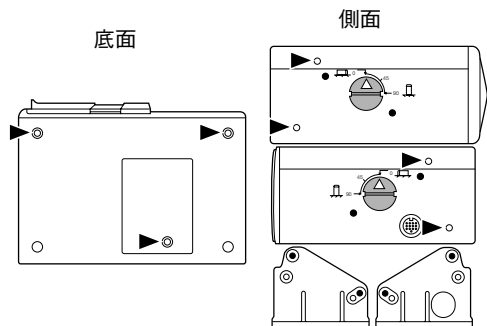
## ■ よこに置いて取り付ける場合

### ● ネジの取り付け位置と防塵シール⑨の貼り付け位置

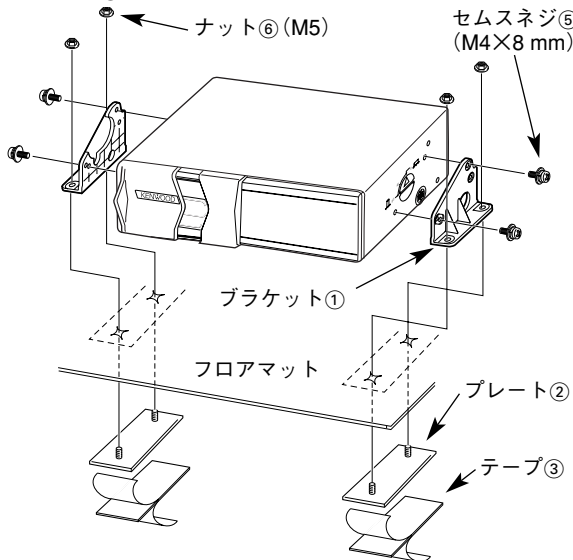
ホコリが内部に入るのを防ぐため、取り付けに使用しない穴には、防塵シール⑨を7か所貼り付けます。

(▶) 印の穴に防塵シール⑨を貼り付けます。(底面および側面)

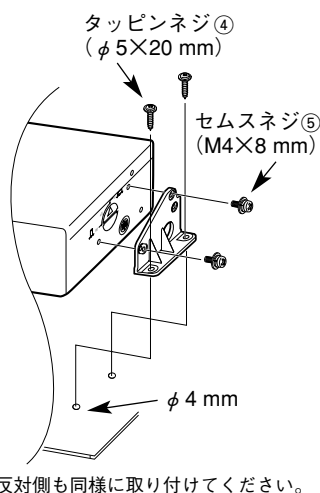
ブラケット①の取り付けは(●)印の穴を使用します。



### ● プレート②を使った簡易的な取り付けかた



### ● タッピンネジ④を使った取り付けかた



- !** セムスネジ⑤は最初、仮止め程度とし、ブラケット①を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。
- 実施** ● テープ③を取り付ける面は油などの汚れを拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- プレート②を使った簡易的な取り付け方法で、万一音飛びが起きる場合は、タッピンネジ④を使った取り付け方法で車に固定してください。
  - トランクルーム内に穴を開ける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

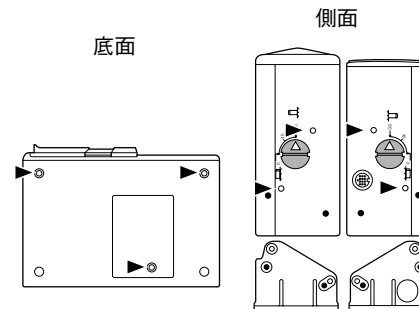
## ■ たてに置いて取り付ける場合

### ● ネジの取り付け位置と防塵シール⑨の貼り付け位置

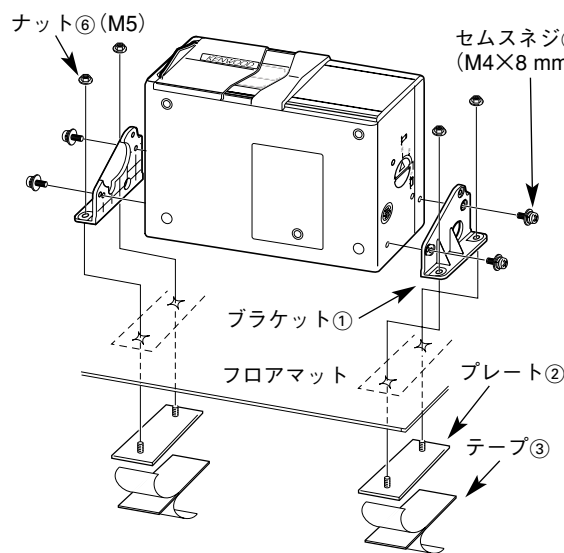
ホコリが内部に入るのを防ぐため、取り付けに使用しない穴には、防塵シール⑨を7か所貼り付けます。

(▶) 印の穴に防塵シール⑨を貼り付けます。(底面および側面)

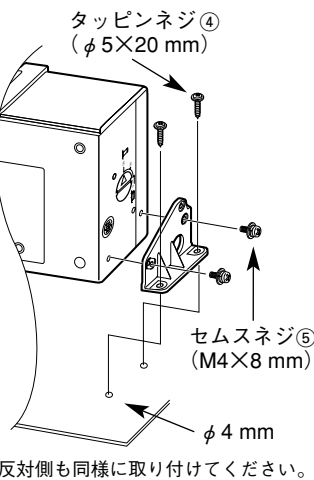
ブラケット①の取り付けは(●)印の穴を使用します。



### ● プレート②を使った簡易的な取り付けかた



### ● タッピンネジ④を使った取り付けかた



- !** セムスネジ⑤は最初、仮止め程度とし、ブラケット①を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。
- 実施** ● テープ③を取り付ける面は油などの汚れを拭き取ってください。また、凹凸面への取り付けは避けてください。
- プレート②を使った簡易的な取り付け方法で、万一音飛びが起きる場合は、タッピンネジ④を使った取り付け方法で車に固定してください。
  - トランクルーム内に穴を開ける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

よくお読みください

# 保証とアフターサービス

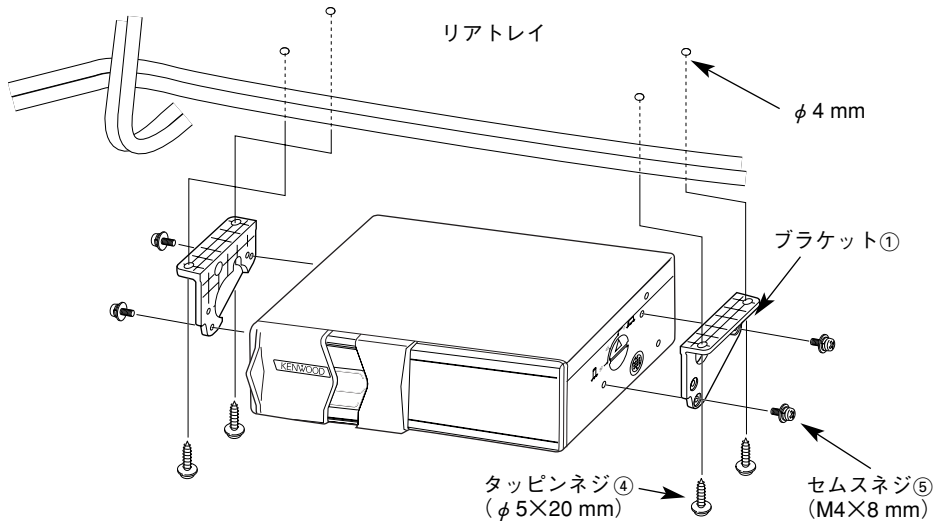
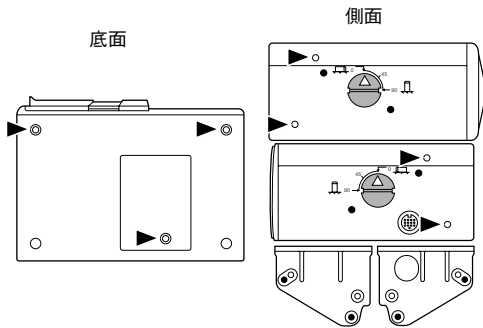
## ■ トランクに吊り下げる場合

### ● ネジの取り付け位置と防塵シール⑨の貼り付け位置

ホコリが内部に入るのを防ぐため、取り付けに使用しない穴には、防塵シール⑨を7か所貼り付けます。

(▶) 印の穴に防塵シール⑨を貼り付けます。(底面および側面)

ブラケット①の取り付けは(●)印の穴を使用します。



● セムスネジ⑥は最初、仮止め程度とし、ブラケット①を取り付け面に固定後、最後に締め付けてください。

実施 ● トランクルーム内に穴を開ける場合は、裏側に何も無いことを確認してください。

リアトレイに取り付ける場合は、スピーカーの振動も音とびの原因となりますので、本機はスピーカーから離れた所に取り付けてください。  
またリアトレイが振動に弱い材料の場合も音飛びの原因となります。この場合はリアトレイの隅など、振動の少ない場所に取り付けてください。

## 保証について

### ● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

### ● 保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外となります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。  
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- CDチェンジャーのディスクマガジンはあらかじめ取り出し、輸送ネジを取り付けてください。
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。